

JENESYS2015 派遣プログラム (ベトナムサッカー／高校生・大学生) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ベトナムへ日本の高校生・大学生ら計 23 名が派遣され、日本とベトナム両国の政治、社会、歴史、文化に関する理解促進や、スポーツを通じた日本の魅力等の積極的な発信を目指し、11 月 2 日から 11 月 10 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加者・人数

大宮アルディージャ ユースチーム 15 名

東洋大学サッカー部 4 名

引率者 4 名（コーチ・メディカルスタッフ等）

3. 訪問国

ベトナム社会主義共和国

4. 日程

- | | |
|--------------|--|
| 11 月 2 日（月） | 出発前オリエンテーション
成田空港より出発 ハノイ着 |
| 11 月 3 日（火） | 【表敬訪問】ベトナム国際青年開発協力協会 (CYDECO)、在ベトナム日本国大使館
【市内視察】ホアンキエム湖、民俗学博物館、ホーチミン廟、水上人形劇 |
| 11 月 4 日（水） | 【学校交流】タイホー高校 |
| 11 月 5 日（木） | 【ODA 視察】ドンラム村（青年海外協力隊の活動） |
| 11 月 6 日（金） | 【視察】ハロン湾 |
| 11 月 7 日（土） | 【サッカー交流】Vietnam Football Federation (U19 Viettel) との合同練習・施設見学、旧市街視察 |
| 11 月 8 日（日） | 【ワークショップ】報告会準備
【サッカー交流】Vietnam Football Federation (U19 Viettel) との親善試合 |
| 11 月 9 日（月） | 成果報告会、歓送会、ハノイ発 |
| 11 月 10 日（火） | 成田国際空港到着 |

5. JENESYS2015 派遣プログラム記録写真（派遣国：ベトナム）

	
11/3 在ベトナム日本国大使公邸表敬訪問	11/4 学校交流（タイホー高等学校）
	
11/5 ODA・ドンラム村視察 （JOCV 隊員の活動視察）	11/6 世界遺産視察（ハロン湾）
	
11/7 サッカー交流 （U19 Viettel との練習交流）	11/9 成果報告会

6. 参加者の感想

◆今回のプログラムでもっとも印象に残っているのは、ベトナムは日本をととても尊敬しているということです。ベトナムに来て日本の技術が多く使われていることに驚きました。また、ベトナム代表チームの監督は男女共に日本人なので、サッカー面でも日本を尊敬してくれて嬉しかったです。また、ベトナムサッカー協会には衝撃を受けました。施設の設備がととても整っていて、サッカーをする環境としては最高でした。最初のイメージとは違い、ベトナム人は活発で優しく、人間性にととても優れていました。

帰国後は、日本にはないベトナムの良さ、逆に、ベトナムにはない日本の良さを SNS で発信していきたいです。ベトナムでは上手く伝えられなかった日本の良さについても今後積極的に伝えていきたいです。

◆もっとも印象に残っているのは、水道水が飲めないということです。日本では水道水も飲料水として使われていますが、ベトナムでは飲むことができないため、日常生活がととても不便に感じました。しかし不便に感じたことで、ベトナムの文化にも触れることが出来たので良い経験が出来たと思います。

帰国後に伝えていきたいことは、日本の「安心・安全」です。ベトナムと日本の大きな違いは、「交通の安全性」です。ベトナムでは近年信号機が取り付けられたいですが、信号無視が多く、ととても危険だと感じる事が多くありました。しかし、ベトナムでは交通事故を見ませんでした。クラクションが鳴り響くベトナムでは、そういったコミュニケーションのやり取りで事故を阻止しているのだと感じました。それに比べて日本では、しっかりと信号を守り、自動車も歩行者も安心して外出することが出来ていますので、もっと安全な国になれるよう、日本の「安心・安全」を発信していきたいと思います。

◆今回のプログラムで印象的だったのは、ベトナムに対する日本の支援の手厚さです。JICAの活動や空港建設など、多方面で支援の手厚さを感じました。特に青年海外協力隊の活動は印象的でした。商売のノウハウが分からない村人に対し、隊員がノウハウを教え、村人の生活を豊かにするという「技術提供」は、日本の強みなのだと改めて感じる事ができました。

帰国後に伝えていきたいことはいくつかありますが、まずはベトナム人の人柄です。ベトナム人はととても活気があり、元気な人々だと思いました。日本に対しての尊敬の念もとても強く、どこへ行っても歓迎してくれました。日本語を話せる方も多く、日本企業への憧れも知りました。サッカーは国民的スポーツになっていて、サッカーに対しての情熱はととても熱く、日本に負けにくいくらい素晴らしいファンや選手がいると聞いて驚きました。今後はこのプログラムで経験したことを、Facebook や SNS を通じて日本や世界に発信していこうと思います。

7. 参加者の帰国後の発信内容

○交通 ・バイクの数がとても多い ↓ But... 道路は混雑しているが交通事故が起きない！！ 日本では考えられない！！	しかし... 排気ガスの問題は大丈夫?? 
ベトナムでの気づき：バイクが多いが交通事故が起きない。日本では考えられない。	ベトナムでの気づき：バイクの数が多いため排気ガスが凄い。大気汚染が深刻。
日本では...  ハイブリッドカーや電気自動車・電気バイクのような、排気ガスの排出量の少ないものが街中を走っている！ 	しかし... 歩道や道路の脇にはゴミが落ちているのが多く見受けられた... 
日本の魅力：大気汚染を防ぐための工夫がされた車両が走っている。	ベトナムでの気づき：道路には商店が並び活気溢れる一方で、ゴミが散乱している。
日本では... ゴミを分別する意識が浸透しており、ゴミ箱は燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトル、ビン・カンなどゴミの種類によって、異なるゴミ箱が用意されている！ 道路にゴミはほとんど落ちていない！  	○まとめ ベトナムのさらなる発展を目指すため、日本からも発信することのできる技術がたくさんある！ ↓ ベトナムと日本がよい関係を保ち、お互いに協力し合う事で、両国のさらなる発展を目指すことが重要！！
日本の魅力：ゴミ箱に捨てるという文化・分別する文化がありゴミは落ちていない。	発信方法：日本技術の素晴らしさを SNS を通じて発信し、両国の更なる発展を目指す。